

No.28
2019
9/4



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



9月4日
団体交渉
八地申33号

出先地でのアルコール検知器による酒気帯び確認の実施 及び新型アルコール検知器の導入に関する申し入れ

全項目
終了

組合主張

会社回答

個人貸与のマウスピースの衛生面について、組合員から除菌や保存の方法に対し不安の声があがっているため、対応を示してほしい。

製造元のタニタや産業医に確認したが、水洗いで一定程度除菌出来る。水洗いをして乾かし、保存してほしい。

社員への周知が無いので、除菌シートで拭いてしまった組合員がいる。

アルコールや熱湯での消毒は止めてほしい。水洗いで効果がある。指導助役会議では伝えたが、乗務員に教育・訓練がされていないので再度周知をしていく。 **再周知の実施を確認！**

どの程度除菌されるのか、データは取っていないということか。

取っていない。

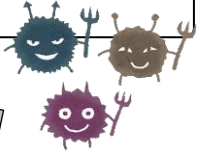
乾かす場所も無い中、衛生面を考えたら試行期間で使っていたストローを使用することがベストでは？

ストローは誰が触ったかわからないし、使った物が戻される可能性もある。個人貸与のマウスピースは本人しか扱わないので良い。

「水洗いで大丈夫」の根拠がわからない。「人によって衛生面を気にする差は様々」というなら、ストローを使っても良いのか？

ストローはマウスピースを忘れた際の予備であり、みんなで使ってしまうと無くなってしまいうので控えてほしい。

認識合わず！



根拠もデータも示さないのに「除菌出来ている」では不安を払拭出来ない！

出先地での作業が増えた事から、準備時間の見直しをするべきだ。

検証したところ、準備時間内で必要な時間は確保出来ている。これまでも貸与品が増えるたびに労働時間の確認をしてきており、変更が必要な場合は変更してきた。

作業時間が1秒でも増えたら、準備時間の見直しをするべきだ！

様々な場所で点呼時にアルコール検査器の音がうるさいとの声があり、寝室の変更を行った宿泊地もあるが、寝室の環境整備について職場から上がっている声を示してほしい。

乗務員課では受けていない。各宿泊地の点呼する場所で検知器の音は鳴らしたが、寝室内でどう聞こえるかの確認は行っていない。職場からの声を確認していく。 **確認！**

睡眠の質の低下は安全問題に直結する！設備改善を早急にすべきだ！

アルコール検知器取扱いフローは、出先地でも取扱いは変わらないのか。

フローに変更はないが「赤」相当の際は「概ね30分経過後再測定」だったのを、15分程度で基準値以下になる確認が取れた事から「20分経過後」に変更した。

アルコール検知器が故障した際の取扱いは？

出来るだけ早く検査を行う。「直近で本区」が基本だが、本区に戻れない行路の場合、所属区所の管理者立ち合いの下、検知器のある詰所で検査する事も考えられる。

小淵沢乗泊で検知器が故障したが、予備があれば対応できた。複数台置くべきだ。

現行では考えていないが、予備の考え方については受けとめた。

検知器が故障し乗務してから検査をした際に「橙」「赤」相当が出た場合、どのような取り扱いになるのか？

乗務をしているので「欠勤」という取扱いにはならない。

見切り発車感が否めない中、多くの問題が発生している

全乗務員が取扱いを理解し、安心して乗務に専念できる体制・設備を求めてたたかおう！

